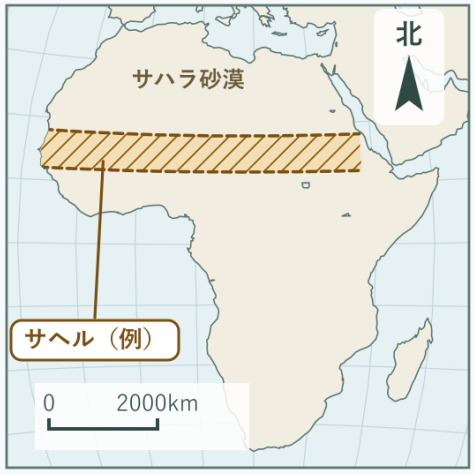
砂漠化が進むしくみ（自然の要因と人の要因の悪循環）

砂漠の周りの草原で、土地が荒れて植物が育たなくなる砂漠化は、どのように進むのか

砂漠化が起こりやすい地域の例



サヘル：サハラ砂漠の南の縁に東西に広がる、雨の少ない地域
（帯の範囲は大まかな模式）

砂漠化とは

乾燥した地域などで、気候の変動や人の活動によって、土地が劣化すること（砂漠化対処条約の定義）

自然の要因　人の要因
土地の変化
A　取り組み（A〜D）

自然の要因
雨の少ない年が続く（干ばつ）、乾燥化

1 草や木が減る

2 地面がむき出しになる

3 土が風や雨で流される

4 土地がやせて、作物や草が育ちにくくなる

5 **人の要因**
食料や燃料を得るため、残った土地を使いすぎる
- **過放牧：家畜を放牧しすぎる**
- **過耕作：畑を休ませずに耕す**
- **薪のとりすぎ：木を切りすぎる**

背景：人口の増加・貧困など

悪循環
輪が回るほど土地が荒れていく

悪循環を断ち切る取り組みの例

A 木を植えて育てる
草や木を取り戻す

B 家畜の数や放牧の場所を調整する

C 薪の少ないかまどを使う

D **国際的な協力**
砂漠化対処条約のもとで、影響を受ける国の取り組みを、技術や資金で支える

※ 模式図。要因の重みや進み方は地域や時期によって違う。地図の帯は大まかな範囲の例で、ほかの乾燥地域でも砂漠化は起こる。